

番号	設問	選択肢	正解	正解と解説等
1	腋窩郭清を行った乳がん患者において正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 リンパ浮腫は患側上肢のみに発症する。		誤り。リンパ浮腫は上肢のみでなく患側の乳房や前胸壁, 側胸部, 背部にも出現しうる。
		2 体重増加や肥満はリンパ浮腫の発症には影響しない。		誤り。体重増加や肥満は大きなリスク因子であり, 純分な生活指導が望まれる。
		3 計画的なエクササイズはリンパ浮腫のリスクを増加させない。	✓	【正解】無理のない計画的なエクササイズはリンパ浮腫のリスクを増加させない。患側上肢の筋力を無理なくつけておくことは大切である。
		4 乳房に赤みが出てきたら乳腺炎と考え直ちに治療を行う。		誤り。リンパ浮腫や炎症性乳がんのこともあり, 慎重な鑑別診断を行わなければならない。
2	乳がん治療とリンパ浮腫の関係として誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 腋窩のセンチネルリンパ節生検だけでもリンパ浮腫は発症することがある。		正しい。海外の臨床試験の結果をみてもセンチネルリンパ節生検後に1-5%程度はリンパ浮腫が発症するとされている。
		2 腋窩リンパ節領域に対して, 手術をせず放射線治療のみを行ってもリンパ浮腫は発症しうる。		正しい。放射線治療のみでもリンパ浮腫の発症率は高まる。手術と放射線治療を併用するとさらにリスクが高まる
		3 乳房再建を行ってもリンパ浮腫の発症率は増加させない。		正しい。
		4 長期的にみると乳房切除術を行った方が乳房部分切除術よりもリンパ浮腫の発症率が增加する。	✓	【正解】誤り。術後2-3年では乳房切除術の方が発症率が高いが, 長期的には変わらないようである。
3	続発性リンパ浮腫を直接発症させる可能性のある治療で, 誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 リンパ節郭清術		
		2 抗がん剤治療	✓	【正解】抗がん剤治療による浮腫は全身性浮腫である。リンパ浮腫を悪化させることはあるが直接原因ではない。
		3 放射線治療		
		4 センチネルリンパ節生検		センチネルリンパ節生検でもリンパ浮腫を発症することがある。
4	小児のリンパ管腫の硬化療法(局注療法)として用いられる薬剤を, 次の①～④の中から1つ選びなさい。	1 スタチン		高脂血症治療薬
		2 H2ブロッカー		消化性潰瘍治療薬
		3 ネオフィリン		喘息治療薬
		4 ビシパニール(OK432)	✓	【正解】
5	遺伝子と疾患名で原発性リンパ浮腫の原因と関係のない組み合わせはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1 VEGFR-3-ミルロイ病		正しい
		2 FOXC2-重複睫毛症候群		正しい
		3 VEGF-C-Klippel-Trenaunay症候群	✓	【正解】誤り。Klippel-Trenaunay症候群に遺伝的素因は確認されていない
		4 SOX18-Hypotrichosis-lymphedema-telangiectasis 症候群		正しい

6	原発性リンパ浮腫の治療で正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	2	妊娠は増悪因子であるため避妊するべきである。		避妊をすすめる医学的根拠はなく、十分なサポートをするべきである。
		3	リンパ管静脈吻合術により根治が可能である。		リンパ管静脈吻合の有効例はおよそ半数。
		4	原発性リンパ浮腫ではリンパドレナージを重点的に施行するべきである。		各病態に即した治療法を選択するべきである。
7	リンパドレナージを目的としないリンパ浮腫の外科治療はどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。 V	1	リンパ管静脈吻合術		リンパを静脈ヘドレナージ
		2	リンパ管移植術		リンパ管から移植リンパ管を経てリンパ管ヘドレナージ
		3	浮腫組織除去術	✓	【正解】浮腫組織の切除のみでドレナージ効果なし
		4	リンパ節移植術		リンパをリンパ節経由で静脈ヘドレナージ(エビデンスが不十分だがコンセプトとしてはリンパドレナージ)
8	リンパ管静脈吻合の適応でないものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。 V	1	乳癌術後のステージ2の上肢リンパ浮腫		多くの症例で患肢に十分な吻合可能な「リンパ管が残っている
		2	蜂窩織炎を起こした直後の下肢続発性リンパ浮腫	✓	【正解】炎症直後の外科手術は浮腫が強いため禁忌
		3	下肢原発性リンパ浮腫でステージ2		多くの症例で患肢に十分な吻合可能な「リンパ管が残っている
		4	直腸癌術後の両下肢リンパ浮腫で陰囊のリンパ浮腫を伴う症例		保存療法が難しい陰囊リンパ浮腫は手術適応。また両下肢例は保存療法でも重症化しやすく外科治療を加える適応有り。
9	リンパ管静脈吻合術と保存療法との関係で正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	術前保存療法は手術に有用でない		術前保存療法で皮膚皮下組織が柔らかくなり、手術が容易になる
		2	全ての症例で手術後に保存療法は全く必要なくなる		手術により全ての症例で症例で保存療法がなくなることはない
		3	手術後に保存療法を行うと吻合部がつぶれる		通常の圧迫では吻合部がつぶれることはない
		4	術前の保存療法により排液されると術中にリンパ管を探しやすい	✓	【正解】排液されることで皮下組織が柔らかくなりリンパ管の同定が容易となることが多い
10	リンパ浮腫予防のセルフケアについて、誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	適正な体重を維持・管理する		正しい
		2	患肢の感染症を起こさないように皮膚を保護する		正しい
		3	身体を部分的に締め付けるような下着・衣服の着用は控える		正しい
		4	可能な限り運動を制限し、安静にする	✓	【正解】過度な運動負荷はリンパ浮腫のリスクとなりうるが、適度に筋肉や関節運動によるポンプ機能を利用することで、リンパ還流が促進される。
11	リンパ浮腫患者のスキンケアで誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	入浴時には皮膚を強くこすらず、泡で洗うようにする。		正しい
		2	洗剤は、弱酸性のものを用いると良い。		正しい
		3	洗剤後は、皮膚を乾燥させることが望ましい。	✓	【正解】洗剤後は保湿剤を用いて皮膚を保湿させることが望ましい
		4	皮膚を傷つけないよう日常生活に気を配る。		正しい

12	リンパ浮腫患者に多い皮膚トラブル処置で誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	蜂窩織炎の場合、抗生物質の投与を行う。		正しい
		2	足白癬の特に趾間型では、局所の乾燥をはかり抗真菌薬を外用する。		正しい
		3	リンパ漏の場合、創傷管理を行って圧迫療法は避ける。	✓	【正解】創傷管理とともに十分な圧迫療法を併用する
		4	象皮症の場合、尿素系の皮膚軟化剤を塗布し、圧迫療法を継続する。		正しい
13	「リンパ浮腫保存的治療基本パス」について、正しいものはどれか。 1～4の中から一つ選びなさい。	1	リンパ浮腫を発症してからについて、目標、必要な指導説明、処置・治療などについて提示されている。		リンパ浮腫を発症する前である、リンパ節郭清術前後の有リスク期についても、提示されている。
		2	いかなる時期もリンパ浮腫の改善を目指している。		緩和医療対象(終末)期のリンパ浮腫については、リンパ浮腫を改善することが困難である場合も多く、リンパ浮腫に対する積極的な治療を行うことにより、かえって苦痛を増強してしまう可能性があるため、安楽を保つケア、ADL・QOLの維持・改善を図ることを目標としている。
		3	弾性包帯・弾性着衣は個別にそして部分的に素材の選定・圧迫方法の工夫を要するとされている。	✓	【正しい】注釈に上記の内容が明言されている。素材や形状、圧迫圧や圧迫方法など個別に方針を立てる必要がある。
		4	リンパ漏・リンパ小胞などの合併症が出現している時は、弾性包帯などの圧迫は原則として行うべきではないとされている。		リンパ漏・リンパ小胞などの合併症が出現しているときは、合併症の治療とともに、必要に応じて弾性包帯などの圧迫を導入することが推奨されている。
14	チーム連携のポイントについて、誤っているものはどれか。 1～4の中から一つ選びなさい。	1	リンパ浮腫の予防・早期発見・治療が可能となるシームレスな流れ・仕組みを作ることが重要である。		正しい:リンパ浮腫の発症や重症化を予防するためにも、浮腫を発症していない時期からリンパ還流を促したり阻害しないようにしたりする指導や、早期発見・早期の治療開始がスムーズになるようなシームレスな流れ・仕組みを作ることは重要である。
		2	院内の医師・コメディカルの連携だけでなく、地域連携も重要なポイントとなる。		正しい:地域連携パスに基づいた施設間連携も重要である。
		3	医師、リハ療法士、看護師など関係スタッフ参加の多職種カンファレンスを開催し、知識や技術の向上、治療の標準化を図る。		正しい
		4	専門性の高い分野の為、多くの職種が関わるよりは関連部署を絞り緊密に連携する方が治療方針の決定がスムーズである。	✓	【正解】リンパ浮腫はあらゆる病期・生活背景においても生じる為、多職種が各職種の専門性を活かしたシームレスな連携を行った方が治療効果を発揮しやすい。
15	緩和ケアが提供されるとき、適切な開始時期について、正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	がん標準治療の適応がなくなったときから		がん対策基本法に第16条に「早期からの緩和ケアについて」条文化されているため
		2	がんの身体症状が問題になったときから		がん対策基本法に第16条に「早期からの緩和ケアについて」条文化されているため
		3	がんの手術が終わったときから		がん対策基本法に第16条に「早期からの緩和ケアについて」条文化されているため
		4	がんと診断されたときから	✓	【正解】
16	がん患者に合併する精神疾患のうち、①～④の中で最も頻度が少ない疾患を1つ選びなさい。	1	統合失調症	✓	【正解】
		2	うつ病		頻度が多いのは、せん妄、適応障害、うつ病の順。
		3	せん妄		頻度が多いのは、せん妄、適応障害、うつ病の順。
		4	適応障害		頻度が多いのは、せん妄、適応障害、うつ病の順。

17	がん患者の精神症状に関する文章で正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	せん妄はストレス(心因)が直接原因となって発症する。	ストレス(心因)は、せん妄の背景因子や増悪因子になりうるが、直接原因とはなりえない。
		2	がんと告知されたら、患者は気分が落ち込むのは当然だからケアの必要がない。	がん告知後の落ち込みも、ケアの必要性はある。
		3	うつ病を合併している患者は、どんな状態でも積極的にリハビリテーションを行うべきである。	うつ病の症状が重篤な場合、リハビリテーションは適さない。
		4	うつ病と鑑別が難しいせん妄がある。	✓【正解】
18	緩和ケア主体の時期の浮腫のケアで誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	浮腫が悪化しにくくなるような日常生活の指導が必要である。	正しい
		2	癌性疼痛やしびれが強い際には、強めの圧迫療法が効果的である。	✓【正解】圧迫療法は疼痛やしびれを悪化させる可能性があり、治療は緩めに圧迫することから始めることが一般的です。
		3	弾性ストッキングが足・膝関節に食い込むことで浮腫を悪化させることがある。	正しい
		4	用手的リンパドレナージの治療効果は少ないが、浮腫の強い部分に柔らかく触るだけでも自覚症状の軽減が見られる事がある。	正しい
19	緩和ケア主体の時期の浮腫の原因に関する記述の中で正しいものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	緩和ケアが必要な時期の浮腫では、問診や理学所見の確認で原因が確定でき診断は容易である。	
		2	治療を開始する前には、胸水や腹水の有無を確認する必要がある。	✓【正解】圧迫療法により胸水や腹水を増加させることがあり、治療開始前と治療経過中にも確認することが必要です。
		3	緩和ケアを主体とする時期では深部静脈血栓症を合併する事は非常に稀であり、エコーなどで除外する必要はない。	
		4	一部抗癌剤の副作用により浮腫の見られる事があるが、発赤をともないアレルギー性であるため、内服薬が著効する。	
20	抗癌剤副作用による浮腫の特徴に関する記述の中から誤っているものはどれか。 ①～④の中から1つ選びなさい。	1	抗癌剤副作用により重症の浮腫が見られたら、抗癌剤の減量や中止が検討されることもある。	
		2	皮膚・皮下組織が硬化しやすく、関節の可動域制限を伴うこともある。	
		3	発赤や熱感をともない急激に進行することがある。	
		4	一部の抗癌剤が原因で浮腫の見られる事があるが、抗癌剤を中止すると一週間程度で浮腫は改善するため、あまり気にすることはない。	✓【正解】抗癌剤が関連した浮腫は、中止してもすぐには改善せず何年も続くことがほとんど。重症化する症例もあるため発症後早期に治療を開始する必要がある